



学校だより

9月号

令和2年9月1日
横浜市立善部小学校
校長 福田 美穂

暑さに負けず、力を合わせてまた一步前進！

校長 福田 美穂

例年より短い夏休みでしたが、子どもたちはわりと満足な表情で8月17日(月)に登校してきました。保護者の皆様の素敵なアイデアや努力で、工夫して楽しい夏休みを過ごせたからでしょう。「もっと夏休みが長かったらよかったのに。」と言う子も、「友達と話したり遊んだりすることも楽しいから学校でもいい。」と、笑顔で教室に上がっていきました。ただ、暑すぎる気候に気持ちまでが参ってしまいそうな前期後半の始まりでした。熱中症と新型コロナウイルス対策と同時に行っていかなければならないこの状況が、早く終わってほしいと切に願う毎日です。

気象予報によると、9月も例年より気温が高いそうです。登下校の様子を見ていると、帽子をかぶっていない子どもが多く、大変気になっています。帽子をかぶり、直射日光を避けるようにしたいものです。17日の朝会で、子どもたちには「帽子で熱中症防止」の話をしました。私が小学生のころは、黄色い通学帽をかぶって登下校していました。男の子はキャップ型、女の子はハット型と決められていました。高学年になると髪をポニーテールなどにしている子は、帽子が浮いていやだなどつぶやいていたものです。今は、首まで日焼けがついているもの、つばの長さが広いもの、結った髪をよけられようにできるものなどいろいろな形の帽子があり、個々人で自由に選べます。登下校だけでなく、放課後に遊びに行くときにも、ぜひ帽子をかぶって、熱中症予防をしてくれることを願っています。

さて、8月25日に令和2年度第1回善部小学校協働運営協議会を開催しました。今年度も児童見守り安全ボランティア代表の〇〇〇様に委員長をお願いし、副委員長を希望が丘南地区連合自治会代表の〇〇〇様、希望が丘南地区社会福祉協議会会長の〇〇〇様のお二人に務めていただくことになりました。また昨年同様、南希望が丘中学校校長先生や横浜隼人中・高等学校校長先生、PTA やキッズクラブ、南希望が丘地域ケアプラザ、地域の方々にもご協力いただき、総勢12名の協議会委員と事務局5名で善部小学校の子どもたちのために地域・保護者・教職員が一体となって取り組む学校づくりを目指します。今後は、ZSF(善部小スポーツフェスティバル)等の参観を含め、全4回の会合を開く予定であります。地域のいろいろなところで学校を話題に取り上げていただき、忌憚のないご意見をいただければと思います。

新型コロナウイルスの影響が大きいですが、その中でできる精一杯のことは行い、子どもたちの生きる力に結び付けてまいります。今後ともご理解、ご協力よろしく願いいたします。

